

# 令和4年度 西東京市立保谷第二小学校 学校評価 [前期]

■学校教育目標	「自ら伸びる」 ○よく考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子
■目指す児童像	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 知・徳・体の調和がとれ、自らの向上を図る「自ら伸びる」児童</li> <li>● 他者を尊重し、集団の中で積極的に自らの役割を果たそうとする児童</li> </ul>
■目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域社会との協働により、それぞれの児童の教育ニーズに応じ、次代を担う市民を育む「社会の雛形」としての学校</li> <li>● 生涯にわたって心の拠り所となる「地域のふるさと」としての学校</li> </ul>
■目指す教師像	● 専門職としての使命感と誇りをもち、創意工夫に満ちた指導の充実に努め、子どもの心に灯をともしことのできる「プロフェッショナル」の教師
■前年度までの学校経営上の成果と課題	<p>[成果] コロナ禍を機会として、校務をゼロベースで精査するとともに、ユニバーサルデザインによる学習環境の整備を徹底したことで、教員が児童と向き合う時間が増え、校内が安定化した。</p> <p>[課題] コミュニティ・スクールへの移行を念頭に学校改革を進めてきた成否を、研究指定校として検証・発信する役割を果たす。</p>

関連教育目標	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	質問内容(教…教職員 児…児童 保…保護者)	教員の結果(%)					児童の結果(%)			保護者の結果(%)									
					A	B	C	D	対象外	A	B	無回答	A	B	C	D	不明					
よく考える児童の育成	教育効果の向上	基礎・基本の完全習得	朝学習でのモジュール型短時間学習により、基礎・基本事項の習得を継続的に図る。 ● 漢字 ● 計算 ● タイピング	①	教	朝学習を有効に用いて、計画的に基礎・基本の定着を図りましたか。	61.1	11.1	0	0	27.8	94.3	5.7	0	34.8	45.4	16.8	2.4	0.6			
							72.2	0		27.8	-	-	-	80.2		19.2		0.6				
					[状況]	● 朝学習を漢字や計算の基礎・基本の習得にあて、半年間で13回の全校規模の確認テストで定着を図りました。 ● 全国学習・学力状況調査では、実施教科の全ての領域で、本校の平均は、国や都の平均を超えています。																
			保	家庭学習の中で、お子さんは、漢字や計算の基礎・基本ができていますか。	[取組]	● 九九のつまずきを個別に解消し、かけ算の筆算までの計算力が向上しています。この方向で、校内の研究推進委員会が中心となり、①計算力 ②漢字 ③都道府県名 からじっくりと、基礎・基本の徹底を図り、結果を公開します。																
		各教科等を横断させたカリキュラムマネジメントの実施 [横糸]	各教科等の指導内容を横断させ、教育効果を向上させる。 ● 言語活動の推進 ● 道徳科の充実	②	教	国語科の言語活動など、各教科等を横断した総合的な学びを進めましたか。	16.7	44.4	11.1	0	27.8	86.6	13.4	0	26.2	46.6	25.3	1.6	0.3			
							61.1	11.1		27.8	-	-	-	72.8		26.9		0.3				
	[状況]				● 国語科で学んだこと(インタビュー・メモ・新聞づくり・発表など)が、他教科・領域における活動で活用されています。 ● 行事に合わせて道徳科の内容を配置し、日常的な題材を道徳の視点で、自分のこととして捉えられるようにしました。																	
		保	お子さんは、コミュニケーションを通じて、考えを相手に伝えることができますか。	[取組]	● 複数の教科・領域を組み合わせた「市民科」単元を開発しています。ここでは、地域のリアルな題材について、各教科等をまたぎ、これまでに学んだことを駆使した問題解決を図っており、特に、国語力の育成と活用を重視しています。																	
	各教科等を縦断させたカリキュラムマネジメントの実施 [縦糸]	6年にわたる「課題改善カリキュラム」を進め、漢字や関数の系統的な理解を促す。 ● 漢字の意味 ● 図や表の活用	③	教	漢字や算数科の数量関係について、既習事項に基づく系統的な指導をしましたか。	61.1	5.6	11.1	0	22.2	87.3	12.7	0	25.4	49.5	23.8	0.5	0.8				
						66.7	11.1		22.2	-	-	-	74.9		24.3		0.8					
				[状況]	● 漢字の構造に着目した指導法を開発し、漢字のもつ形と音、意味の関係を理解して学べる仕組みづくりをしました。 ● 伝統的に苦手とされる「割合」を、図表を用いて、その数量関係を読み解く指導を、六年間にわたって計画しました。																	
		保	お子さんは、過去に学習したことを、新たな学習に自ら生かすことができますか。	[取組]	● 漢字や算数科の数量関係について、六年間に及ぶ系統的な指導計画をまとめ、「課題改善カリキュラム」としました。各担任は、地道に授業に織り込んでいます。2学期に全校で評価テストを行い、その指導効果を確認する予定です。																	
ギガスクール構想の具現化	個別最適化された学びの実現	文房具として日常的にタブレット端末の活用を進める。 ● 家庭学習との連携 ● 情報モラル	④	教	教材の電子化も念頭に、タブレット端末の日常的な活用を図りましたか。	44.4	44.5	0	0	11.1	88.4	11.6	0	36.8	46.0	11.2	1.9	4.1				
						88.9	0		11.1	-	-	-	82.8		13.1		4.1					
				[状況]	● 全校でローマ字の学習を前倒しし、タイピング練習も習慣化したことで、タブレット端末への抵抗が解消されました。 ● 自宅で事前に調べ、学校でその知見を集団検討に生かす「反転学習」について、校内研究授業で2度検証しました。																	
			保	子さんは、タブレット端末を、適切に学習活動に活用することができますか。	[取組]	● 児童が自分の考えをもって授業に臨み、授業では集団での検討を軸として時間を有効に活用する「反転学習」は、個に応じた指導の「鍵」となります。そのためにタブレット端末を駆使し、児童それぞれの学びを深めています。																
		自立した学びを支える「学び方の学び」「考え方の学び」を、各教科等に応じて進める。 ● 調べ方・まとめ方 ● 思考ツールの活用	⑤	教	書籍や辞書、タブレットを用いた検索、インタビューによる調べ学習を進めましたか。	44.4	27.8	11.1	0	16.7	87.9	12.1	0	27.4	43.2	23.9	4.1	1.4				
				72.2	11.1		16.7	-	-	-	70.6		28.0		1.4							
[状況]	● 学び方の学び…メディアルームを設置し、漢字辞典を更新しました。夏季休業期間に、指導計画を具体化しました。 ● 考え方の学び…昨年度の校内研究で検証した「思考ツール」の活用が、発達段階に応じて、徐々に進んでいます。																					
	保	家庭学習の中で、お子さんは、図書館の本や辞書、タブレットを活用できますか。	[取組]	● 情報の特性や信頼性を理解して、場面に応じて書籍や辞書、タブレットを使い分けることが、自立的な学びを支えると考えます。公立図書館との連携を深め、確かな情報を得る手段を、6年間を通して学ぶ指導計画を具体化しました。																		

思いやりのある児童の育成	心に寄り添う指導の実現	「あったか学校」の実現	ユニバーサルデザインによる学習環境づくりを通して、全ての児童の学びに寄り添う。 ●机・椅子のサイズ ●視覚刺激・聴覚刺激の低減	⑥	教	教室の壁面やロッカーの整備、机・椅子のサイズ調整など、環境の整備をしましたか。	61.1	27.8	0	0	11.1	90.2	9.8	0	23.7	51.1	13.3	1.6	10.3
					児	教室では、集中して学習することができましたか。	88.9		0		11.1	-	-	-	74.8		14.9		10.3
					保	教室は、お子さんが学習に集中できる環境となっていますか。	[取組] ●ユニバーサルデザインによる教室環境の安定化を更に進め、全児童の机・椅子のサイズ調整に着手しています。 ●倉庫や廊下も含め、徹底的に整理したことで、空間的なゆとりが生じ、教材・教具の有効活用にもつながりました。												
					保	教室は、お子さんが学習に集中できる環境となっていますか。	[取組] ●コロナ対策の条件下で、児童数の多い学級でも、その集団としての強みを生かした学びの環境づくりをしていきます。学習課題別のグループワークを、第3の教室やメディアルームの空間も用いて、タブレット端末を活用して進めます。												
	健やかな生活習慣の形成	健康づくりと体力づくりの推進	教育相談機能の充実を図り、具体的方策を保護者と共有する。 ●カウンセリング ●ケース会議の充実	⑦	教	教育相談の手法を用いて、児童や保護者のニーズに応えられましたか。	16.7	72.2	5.6	0	5.5	96.9	3.1	0	31.2	53.1	13.6	1.6	0.5
					児	自分や友達を大切にしていますか。	88.9		5.6		5.5	-	-	-	84.3		15.2		0.5
					保	お子さんは、自己肯定感や、他者への思いやりの心が育っていると思いますか。	[状況] ●全員面接やアンケートを通してその内面を把握し、スクールカウンセラーの助言をもとに組織的に対応しています。 ●「西東京市あったか先生」の取組に基づき、校内でも研修会を重ね、教員の指導の改善につなげています。												
					保	お子さんは、自己肯定感や、他者への思いやりの心が育っていると思いますか。	[取組] ●定期的に校内委員会を開催し、困り感のある児童への対応を組織的に図る具体的な手立てを職員間で共有します。 ●長期休業期間明けや、緊急事案の発生後の児童の心理状態に即応するため、心理士と緊密に連携します。												
たくましい児童の育成	健やかな生活習慣の形成	健康づくりと体力づくりの推進	食育を推進し、栄養・運動・休養のバランスのとれた生活の基盤とする。 ●食育指導 ●残菜の削減	⑧	教	食育を通して、児童の食体験を広げ、残菜を減らすことができましたか。	47.1	35.3	0	0	17.6	80.9	19.1	0	29.7	41.4	23.2	5.7	0
					児	給食を、好き嫌いなく、残さず食べることができましたか。	82.4		0		17.6	-	-	-	71.1		28.9		0
					保	お子さんは、好き嫌いなくバランス良く食べることができますか。	[状況] ●配膳時のコロナ対応があっても、食事の時間を十分に確保する工夫を重ね、校内で共有しています。 ●児童は、全体的によく食べますが、混ぜご飯など、好き嫌いが分かれることがあります。												
					保	お子さんは、好き嫌いなくバランス良く食べることができますか。	[取組] ●日々の残菜量を分析するとともに、食育の観点から、それぞれの児童が必要な栄養の量に向き合える指導をします。 ●地域の伝統料理や外国の料理など、メニュー開発を進め、児童の食体験を広げ、異文化に接する機会とします。												
	伸びる児童の教育環境づくり	地域に開かれた学校の実現	体力向上における、「遊び」の果たす役割を重視し、運動の日常化を図る。 ●用具の整備・購入 ●地域と連携した投能力の向上	⑨	教	児童集団の遊びの体験を広げ、外遊びを促すことができましたか。	44.4	44.5	0	0	11.1	77.0	23.0	0	50.7	32.7	13.6	2.7	0.3
					児	休み時間は、校庭で友達と元気に遊ぶことができましたか。	88.9		0		11.1	-	-	-	83.4		16.3		0.3
					保	お子さんは、屋外で友達と元気に遊ぶことができますか。	[状況] ●昨年度の取組による体力向上の実績により、東京都から「子供の体力向上推進優秀校」として、表彰されました。 ●児童の投能力の向上を具体的に図るため、地域の少年野球チームの指導者による「投げ方教室」を実施しました。												
					保	お子さんは、屋外で友達と元気に遊ぶことができますか。	[取組] ●コロナ対策を徹底したうえで、「遊び」の充実による体力向上と生涯スポーツの基盤づくりをしています。生活指導担当の発案で、一輪車や竹馬、サッカーゴールを増やしたことで、外遊びをする児童が増え、遊びが活性化しています。												
	地域に開かれた学校の実現	コミュニティ・スクールの持続可能な運営	教科「市民科」を設け、地域の教育力を用いた地域教材により、総合的・実践的な問題解決力を高める。 ●花プロジェクト ●まちづくり事業	⑩	教	児童の発達段階に応じて、総合的な問題解決学習の単元開発を図りましたか。	16.7	22.2	44.4	0	16.7	92.2	7.8	0	40.9	48.8	4.9	0.5	4.9
					児	地域のみなさんのアドバイスをもとに、花を育てたりすることができましたか。	38.9		44.4		16.7	-	-	-	89.7		5.4		4.9
					保	学校は、地域社会との連携を適切に行い、教育活動の充実を図っていますか。	[状況] ●全校で花を育て、「花大使」として地域美化にあたる「花外交」を軸に、地域社会と協働した学習が実現しています。 ●行政や企業と連携したまちづくり事業に6年児童が参画し、上述②の言語活動を生かして、学びを充実させました。												
					保	学校は、地域社会との連携を適切に行い、教育活動の充実を図っていますか。	[取組] ●コミュニティ・スクールとして、地域社会との協働の場を教育課程そのものとし、教科「市民科」を設けました。地域の素材により、地域の教育力を生かした発展的な学びを進めるため、12種類の教材開発をしており、順次実施します。												
	指導環境の充実	校務改善による働き方改革の推進	安全・安心を学校運営の基盤とし、地域ぐるみで「考える安全教育」を推進する。 ●防災・防犯の日 ●安全マップづくり	⑪	教	児童が、安全・安心を我が事としてとらえ、自ら退避行動をとれる指導をしましたか。	50	38.9	0	0	11.1	96.4	3.6	0	34.8	53.2	4.6	0.8	6.6
					児	地震や火事、不審者から、どうやって自分を守るか、訓練で知ることができましたか。	88.9		0		11.1	-	-	-	88.0		5.4		6.6
					保	学校は、お子さんの自立的な安全・安心のために、工夫した手立てを講じていますか。	[状況] ●実際の火災を想定して避難訓練の設定を修正し、防火シャッターの作動に伴う防火扉からの避難を実施しました。 ●全児童の通学経路を集計して、動線と通行量を把握しており、毎日の登校時見守りのルートに反映しています。												
					保	学校は、お子さんの自立的な安全・安心のために、工夫した手立てを講じていますか。	[取組] ●コミュニティ・スクールとして、児童のみならず地域住民の安全・安心を担う拠点となるため、風雪害対応や避難所運営も視野に入れた総合防災・防犯訓練「保二小 あんぜんの日」を10月8日に開催しました。												
	指導環境の充実	校務改善による働き方改革の推進	校務の合理化により、職員が児童と向き合う時間を創出する。 ●IT化の推進 ●外部人材の組織化	⑫	教	校務の改善は進んでいると思いますか。	0	94.1	5.7	0	0	83.7	16.3	0	32.2	49.2	4.4	1.1	13.1
					児	先生と話したり、いっしょに遊んだり、分からないところを相談したりできましたか。	94.1		5.9		0	-	-	-	81.4		5.5		13.1
					保	教職員の校務改善が、指導の質の向上につながっていると思いますか。	[状況] ●職員会議を大幅に削減する代わりに、担当者は「細案」を作成して提案の質を高め、コロナ禍にも対応しています。 ●朝学習を整備して土曜授業を減らし、基礎・基本の定着を図って、教員が児童と向き合う時間を増やしました。												
					保	教職員の校務改善が、指導の質の向上につながっていると思いますか。	[取組] ●スクールサポートスタッフや副校長業務支援員、地域学校協働活動推進員、学生ボランティア等の人材を組織化し、事務室を経営に参画させるとともに、年度途中でも職員の業務洗い出しをして、校務分担の適性化を図っています。												